

ルーマニア月報

2024 年 12 月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、
日本大使館がとりまとめたものです。

令和 7 年 1 月 16 日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 12 月 16 日、ダン・ブカレスト市長が大統領選挙への出馬を発表。
- 12 月 23 日、PSD、PNL、UDMR、少数民族グループは、アントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行を統一大統領候補に擁立。
- 12 月 16 日、ジョルジエスク大統領候補は憲法裁判所の大統領選挙無効決定を不服として欧州人権裁判所に控訴。12 月 31 日、ブカレスト高等裁判所はジョルジエスク大統領候補による大統領選挙無効に関する訴訟を却下するも、同候補は最高裁に上告。
- 12 月 23 日、PSD、PNL、UDMR、少数民族グループの親欧米政党は連立政権を組むことに合意。同日、第 2 次チャク政権が発足。閣僚・上下院議長が決定。
- 12 月 30 日、政府は公務員・企業関係者・年金生活者等の給与・諸手当等を凍結・制限する緊急政令を採択。

【経済】

- 12 月 18 日、フィッチ・レーティングスがルーマニアの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ。
- 12 月 19 日、欧州連合（EU）の統計局であるユーロスタットは、ルーマニアの 2024 年 11 月の年間インフレ率が 5.4%で、EU 加盟国の中で最高と発表。
- 1 月 1 日、ルーマニアの自動車メーカー協会 ACAROM は、2024 年のルーマニアの新車登録台数が前年比 2.4%増と発表。

【外政】

- 12 月 12 日、EU 各国の内相はブリュッセルで、ルーマニアとブルガリアが 2025 年 1 月 1 日からシェンゲン協定の陸路への適用を承認。これにより両国は完全にシェンゲン圏入り。

【防衛・安全保障】

- 12 月 26 日、小型航空目標物がルーマニアを領空侵犯。RO アラート（ルーマニア版 J アラート）が発出されたが、ルーマニア領土への落下などの影響を及ぼした可能性を示す情報はない。

【我が国との関係】

- 12 月 17 日、ルーマニア開発・公共事業・行政省は、極限レーザー核物理研究所（ELI-NP）光学センターの建設に関する契約署名式を開催。

内政

● 大統領選挙関連

- 12月16日、ダン・ブカレスト市長が大統領選挙への出馬を発表。
- 12月23日、PSD、PNL、UDMR、少数民族グループは、アントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行（元PNL党首、元上院議長）を統一候補とする旨の文書に署名。
- 12月16日、ジョルジエスク大統領候補は憲法裁判所の大統領選挙無効決定を不服として欧州人権裁判所に控訴。12月31日、ブカレスト高等裁判所はジョルジエスク大統領候補による大統領選挙無効に関する訴訟を却下。ジョルジエスク候補は最高裁に上告。

● 組閣関連の動向

- 12月23日、PSD、PNL、UDMR、少数民族グループの親欧米政党は連立政権を組むことで合意。
- 12月23日、ヨハニス大統領はチョラク前首相を首相に指名。同日、議会において首相を含む閣僚名簿が賛成票240票で可決し（過半数は233票）、第二次チョラク政権が発足。併せて上下院議長も以下の通り決定。

首相	マルチエル・チョラク（Marcel Ciolacu）（PSD）
副首相	マリアン・ネアクシュ（Marian Neacsu）（PSD）
内務相	カタリン・プレドイウ（Catalin Predoiu）（PNL）
財務相	タンツォシュ・バルナ（Tanczos Barna）（UDMR）
運輸・インフラ相	ソリン・グリンデアヌ（Sorin Grindeanu）（PSD）
法務相	ラドゥ・マリネスク（Radu Marinescu）（PSD）
国防相	アンゲル・トゥルヴァル（Angel Tilvar）（PSD）
教育相	ダニエル・ダヴィド（Daniel David）（PNL）
文化相	ナタリア・イントテロ（Natalia Intotero）（PSD）
外相	エミル・フレゼアヌ（Emil Hurezeanu）（PNL）
欧州投資・事業相	マルチエル・ボロシュ（Marcel Bolos）（PNL）
開発・公共事業・行政相	チェケ・オティラ（Cseke Attila）（UDMR）
保健相	アレクサンドル・ラフィラ（Alexandru Rafila）（PSD）
農業・地方開発相	フロリン・バルブ（Florin Barbu）（PSD）
エネルギー相	セバスチャン・ブルドウジャ（Sebastian Burduja）（PNL）
労働・社会保障・家族相	シモナ・ブクラ＝オブレスク（Simona Bucura＝Oprescu）（PSD）
経済・デジタル化相	ボグダン・イヴァン（Bogdan Ivan）（PSD）
環境・水利・森林相	ミルチャ・フェケット（Mircea Fechet）（PNL）
上院議長	イリエ・ボロジャン（Ilie Bolojan）（PNL）
下院議長	チプリアン＝コンスタンティン・シェルバン（Ciprian Constantin Serban）（PSD）

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、POT：青年党、PUSL：社会自由ヒューマニスト党、AFD：右派の力連合

- **公務員・企業関係者・年金生活者等の給与・諸手当・年金等の凍結・制限等に関する緊急政令が閣議決定**
 - 12月30日、政府は公務員・議員・企業関係者・年金生活者・学生等の給与や諸手当、年金等の凍結・制限等に関する緊急政令を採択。主な内容以下のとおり。なお、チョラク首相は、同日の記者会見において、同措置が2025年に財政赤字を抑制し、ルーマニアの近代化のため引き続き欧州基金、国家復興・強靱化計画（PNPR）による無償・有償資金を得られるために必要な措置であること、同措置は決して緊縮財政ではないことを強調。年金は2025年にインフレ率に見合った引き上げを行わず、2024年11月時点の額に据え置き。
 - 公務員及び議員の給与は2024年11月時点の額に据え置き。
 - 配当税は2025年に8%から10%に引き上げ。
 - 零細企業に対する課税基準は2025年に50万ユーロから25万ユーロに引き下げ。2026年には10万ユーロに引き下げ。
 - IT関係者の1万レイを超えた分の所得税の免除の撤廃。
 - 建設業、農業、食品産業の従業員の所得税免除の撤廃。
 - 特別と見なされる建設物（水力発電所、熱電発電所、原子力発電所、変電所等）への1%の追加課税。
 - 政党助成金は2025年に2024年比で25%減少。
 - 学生に対する電車乗車割引の制限（居住地と大学のある都市間の乗車に制限）。
 - 同緊急政令が官報に掲載されて以降、警察官、労働組合、学生等を中心に、首相府前等での抗議活動が複数回展開。

経済

(1) 主要経済統計とりまとめ（国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ）

● 国家統計局（INS）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
貿易収支（億€）	-122.883	-150.901	-180.394	-209.199	-234.858	-272.117	N.A.
消費者物価指数(%)	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11
失業率（%）	5.4	5.5	5.4	5.5	5.5	5.4	N.A.
平均グロス給与（€）	1,681	1,706	1,726	1,699	1,721	1,732	N.A.
平均ネット給与（€）	1,030	1,041	1,054	1,038	1,052	1,060	N.A.

● 財務省（MF）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
財政収支（億 lei）	601.042	636.656	710.418	808.702	962.369	1094.167	N.A.
GDP 比（%）	-3.40	-3.60	-4.02	-4.57	-5.44	-6.19	N.A.

● ルーマニア中央銀行（BNR）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
政策金利（％）	7.00	7.00	6.75	6.50	6.50	6.50	6.50
外貨準備高（億€）	650.72	643.92	635.79	631.87	657.78	628.41	611.74
経常収支（億€）	-91.75	-121.76	-151.78	-178.58	-197.77	-242.10	N.A.
前年同期（億€）	-68.79	-90.87	-113.28	-138.30	-160.63	-184.53	N.A.
FDI（億€）	33.42	32.19	31.21	41.39	53.62	55.12	N.A.
前年同期（億€）	24.65	28.01	39.67	43.82	51.71	59.04	N.A.
前年同期比（％）	+35.57	+14.92	-21.32	-5.54	+3.69	-6.64	N.A.
中長期対外債務(億€)	1309.97	1306.62	1318.51	1333.89	1388.23	1381.98	N.A.
前年末比（％）	+7.6	+7.3	+8.3	+9.2	+13.7	+13.2	N.A.
短期対外債務（億€）	447.56	461.95	484.79	491.35	473.58	481.50	N.A.
前年末比（％）	-7.4	-4.4	+0.3	+6.3	+2.4	+4.2	N.A.

● 消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
消費者物価指数(%)	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11
食料品価格(%)	1.24	1.10	1.71	4.25	4.72	4.75	5.11
非食量品価格(%)	6.38	6.28	6.92	4.35	3.30	3.45	4.15
サービス価格(%)	9.29	8.81	8.52	8.60	7.88	7.66	7.56
ユーロ圏平均	2.6	2.5	2.6	2.2	1.7	2.0	2.2
EU27 カ国平均	2.7	2.6	2.8	2.4	2.1	2.3	2.5

● 業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
鉱工業							
工業生産高（％）	-6.5	0.5	-3.9	-2.0	-3.6	-0.9	N.A.
工業売上高(名目)（％）	-7.1	2.8	10.5	4.2	6.0	8.2	N.A.
工業製品物価指数（％）	-1.0	1.1	2.6	2.7	-1.7	-3.3	N.A.
新規工業受注高(名目)（％）	-7.2	-3.4	7.5	2.7	3.3	7.9	N.A.
小売業							
小売業売上高(除:自動車・バイク)（％）	6.1	10.0	7.4	9.2	10.7	10.6	N.A.
自動車・バイク売上高(%)	-3.3	-0.4	2.3	2.7	-1.6	6.3	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	0.3	-0.3	-0.1	0.8	2.9	1.9	N.A.
小売業売上高 EU 平均(%)	0.6	0.1	0.4	1.0	2.8	2.1	N.A.
建設業							
工事(%)	-1.7	-0.4	-2.3	-2.0	3.0	-11.6	N.A.

(2) 主要経済関連

● ルーマニア GDP、2024 年 1-9 月期は前年同期比 0.8%増

- 12 月 6 日、ルーマニア国家統計局（INS）は、2024 年 1-9 月期のルーマニア経済が季節調整前・調整後ともに前年同期比 0.8%増となった旨の暫定データを発表した。2024 年第 2 四半期と比較すると、2024 年第 3 四半期の GDP は実質ベースで 0.1%縮小。

● 2024 年 11 月のインフレ率は 5.11%に上昇

- 12 月 12 日、INS は、2024 年 11 月の年間インフレ率が 5.11%となり、10 月の 4.67%から上昇した旨を発表した。食品価格が 5.11%、非食品価格が 5.15%、サービス価格が 7.56%上昇したことが要因。2024 年 11 月の消費者物価指数は前月比 100.41%。年初からのインフレ率は 4.8%。

- **フィッチ・レーティングス ルーマニアの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ、格付け BBB-据え置き**
 - 12月18日、フィッチ・レーティングスは、ルーマニアの長期外貨建て発行体デフォルト格付け（IDR）の見通しを「安定的」から「ネガティブ」に変更し、IDRを「BBB-」に据え置いた。この決定は、ルーマニア政府が財政赤字を補填するために金融市場から借り入れる金利を上昇させる可能性がある。政治的不確実性が高まっており、財政再建に大きな悪影響を及ぼす可能性が高いと評価された。
- **ルーマニア、2024年11月のインフレ率が5.4%とEU加盟国中最高を記録**
 - 12月19日、欧州連合（EU）の統計局であるユーロスタットは、ルーマニアの2024年11月の年間インフレ率が5.4%で、EU加盟国の中で最高だった旨を発表した。年率が高い順に、ルーマニア（5.4%）、ベルギー（4.8%）、クロアチア（4.0%）で、年率が低かったのはアイルランド（0.5%）、リトアニア、ルクセンブルク（ともに1.1%）だった。同期のユーロ圏のインフレ率は2.2%。EUの2024年11月のインフレ率は2.5%。

（3）その他経済トピックス

- **ルーマニアの EBRD 地域ハブ化に関する覚書、政府が承認**
 - 12月4日、ルーマニア政府は、ルーマニアが欧州復興開発銀行（EBRD）の地域ハブになることに関する覚書を承認した。ルーマニア政府は、ルーマニアが EBRD の地域ハブとなり、東欧（ブルガリア、ギリシャ、及び場合によってはモルドバ共和国）における EBRD の業務拡大のための効率的なプラットフォームを提供することで、地域経済の安定を促進するルーマニアの戦略的役割を強化する旨を発表した。
- **ルーマニア、EBRD と再生可能エネルギー投資に関する覚書を締結**
 - 12月6日、EBRD は、ルーマニアのブルドゥジャ・エネルギー相とジンチュク EBRD ルーマニア事務所長との間で交わされた覚書に基づき、ルーマニアにおける将来の再生可能エネルギーオークションの設計と実施を支援する旨を発表した。EBRD の支援により、ルーマニアは9月、再生可能エネルギー設備建設のための差金決済契約（CfD）メカニズムとともに、太陽光発電 50 万 kW と陸上風力発電 100 万 kW の合計 150 万 kW の再生可能エネルギー発電能力の最初のオークションを開始した。これは、再生可能エネルギー発電を拡大するルーマニアの野心的な計画の前進を意味する。
- **ルーマニアの 2024 年新車登録台数、前年比 2.4%増**
 - 1月1日、ルーマニアの自動車メーカー協会 ACAROM は、2024 年のルーマニアの新車登録台数が前年比 2.4% 増の 14 万 8,105 台で、うちハイブリッド車が 5 万 8,470 台（35%増）、フル電気自動車が 9,765 台（32%減）だった旨を発表した。2024 年に登録された新車のうち、ダチアは 44,430 台で、ほぼ 2%減。2 番目に登録台数が多かったのはトヨタで 12,818 台、次いで SCODA の 10,612 台、HYUNDAI の 10,268 台。フォードの新車登録台数は 1.4%減の 6,493 台。

外政

（1）シェンゲン協定

- **EU 正式決定：2025 年 1 月 1 日、ルーマニアとブルガリアが完全にシェンゲン圏入り**
 - 12月12日、EU 各国の内相はブリュッセルで、ルーマニアとブルガリアが 2025 年 1 月 1 日からシェンゲン協定の陸路適用を承認した。これに伴い、両国は完全にシェンゲン圏入りすることになった。ブレドイウ・ルーマニア内務相は、ルーマニアとブルガリア、ルーマニアとハンガリー間での国境抜き打ち検査は、6 ヶ月間実施されると述べた。

防衛・安全保障

(1) 事案・イベント等

● 演習場で事故、5 名が負傷

- 12 月 12 日、バルセア県のゴラヌ演習場で、ルーマニア軍のルムニク・ヴルチャ戦闘支援訓練センター（ブカレストから北北西約 170 km）にて、実弾を用いた点火装置を作成する訓練中に事故が発生し、教官 1 名と学生 4 名が負傷した。

● 在ルーマニア・コロンビア人、陽動作戦で逮捕

- 12 月 4 日、ルーマニア当局は、ロシア人の要請でテロ攻撃を計画しスパイ活動を行っていたとされる在ルーマニア・コロンビア国籍の男を逮捕した。
- この男は、2024 年 7 月からルーマニアの重要な戦略的目標に火をつけたり爆発させたりして攻撃する準備をしていたとされ、コロンビアで準軍事的な訓練を受けるなど諜報活動を専門としていた。

● トゥルヴァル国防大臣、続投

- 12 月 23 日、ヨハニス大統領は新連立政権の樹立で各政党と合意し、チョラク首相や各閣僚が指名された。トゥルヴァル国防大臣は再任され、続投する。

● 小型航空目標物のルーマニア領空侵犯

- 12 月 26 日、ルーマニア軍のレーダー監視システムは、トゥルチャ県キリア・ヴェケの東約 15km の地点で、ルーマニア領空に向かって移動する小型航空目標物を検知し、21 時 07 分にトゥルチャ県に対して RO アラート（ルーマニア版 J アラート）が発出された。
- 21 時 09 分、この小型航空目標物のレーダー航跡は、ルーマニア領空に約 6km 入った地点で完全に途絶え、21 時 30 分、RO アラートは解除された。
- NATO ルーマニア領空警備に就く戦闘機の離陸準備が取られたものの、今回の状況では離陸の必要はなく、小型航空目標物がルーマニア領土への落下などの影響を及ぼした可能性を示す情報はない。

(2) 訓練・演習等

● パトリオットミサイル実弾射撃演習 F.A.パトリオット・スパーク 24.11 を実施

- 12 月 2 日から 12 日にかけて、カブメディア地対空射撃場で第 74 連隊パトリオット地対空ミサイル部隊がパトリオットミサイル実弾射撃演習 F.A.パトリオット・スパーク 24.11 を実施した。
- この演習は、パトリオットミサイルシステムの実弾射撃能力を確認し運用能力を向上させることを目的として実施された。

(3) 主要な会談・会合等

● 国防大臣、ハーグにてオランダ国防大臣と会談

- 12 月 12 日、トゥルヴァル国防大臣はオランダのハーグを公式訪問し、ブレケルマンス・オランダ国防大臣と会談し、2025 年に予定されているハーグでの NATO サミットを念頭に、NATO 東端を強化するために採択された決定を実施する方法について議論した。
- またウクライナ支援の具体的措置や、NATO・EU 協力の本質的な役割についても議論するとともに、欧州防衛産業プログラム(EDIP)などの EU の主導性の促進、軍隊の近代化に資する NATO の戦略的主導性を支援するための防衛産業協力に関しても話し合いが行われた。

● 米空軍参謀長の訪ルーマニア

- 12 月 19 日から 20 日にかけて、オルビン米空軍参謀長（大将）がルーマニアを訪問し、招待者であるバラボイ・ルーマニア空軍参謀長（中將）やヴラッド・ルーマニア軍参謀総長（陸軍大将）と会談するとともに、第 90 空軍輸送基地や空軍司令部を訪問した。

- この訪問は、空軍分野での NATO の協力計画を強化し、ルーマニアと米国の戦略的パートナーシップに基づき軍事関係を発展させることを目的とし、合同演習、領空警備任務及び NATO 戦闘群の任務での協力を確認する機会となった。

(4) 人員・装備品・防衛産業など

- **ベルギーは、2025 年にチンクの NATO 戦闘群への兵員増を予定**

- 12 月 12 日、コジョカル国防次官とヴラッド参謀総長は、ブラショフ県のチンクにあるゲティカ統合訓練センターで、ベルギーのドゥドンドゥル国防大臣およびヴァンシナ参謀総長と会談した。
- ベルギー側はルーマニアの NATO 戦闘群への参加へ強いコミットメントを再確認し、2025 年に旅団レベル演習の支援のためベルギー軍の数を増やすと述べた。

- **ノルウェーから、追加の F-16 戦闘機 3 機が到着**

- 12 月 13 日、第 71 空軍基地（クンピアトゥルジー）にノルウェーから追加の 3 機の F-16 戦闘機が到着した。
- この 3 機は、ノルウェーから購入した 12 機の F-16 戦闘機から構成される同基地の第 48 戦闘飛行隊に配属され、同飛行隊の F-16 戦闘機は合計 15 機となった。
- 2022 年、ルーマニアはノルウェーと計 32 機の F-16 戦闘機と関連装備品や支援の調達に関して合意している。

我が国との関係

(1) 二国間関係全般

- **極限レーザー核物理研究所（ELI-NP）光学センター建設に関する契約署名式**

- 12 月 17 日、ルーマニア開発・公共事業・行政省は、ELI-NP 光学センターの建設に関する契約書名式を開催し、ルーマニア開発・公共事業・行政省傘下の国家投資公団（National Company of Investments）と建築会社 ERBsau との間で署名が行われた旨発表した。式典にはボロシュ財務相（開発・公共事業・行政相代行を兼任）やイヴァン研究・イノベーション・デジタル化相、片江在ルーマニア日本国大使等が参加し、ルーマニアと日本が協力しながら本プロジェクトを推進することの重要性が強調された。

